

復興支援報告書

宮城県石巻市表浜漁港

漁港の復興は地域の復興として漁業関係者はもちろん、地域の住民・ボランティアの方たちが団結して頑張っている所で、漁協の復興には電力の供給が欠かせないとの強い要望があり支援いたしました。石巻市から離れたところに位置しているためか、支援物資の供給が非常に遅れ、震災当時は生き抜くのに精一杯だったという地域、このプロジェクトで支援に入った時もまだまだガレキが散乱し、車が通るのに苦労したところです。電力会社から送電を断られた直後にこのプロジェクトの話をしたこともあり、支援前から組合長を始め地域の皆さんから温かい言葉を頂いている忘れられない地域の一つです。太陽電池の設置の時も漁師さんと一緒に進めるなど、今後の再生可能エネルギーと第1次産業を結びつける新しい社会システム芽が出始めている、私達にとっても最重要地域です。支援後数ヶ月が立ち、すでに電力は普及し魚協にも仮設電源が供給になったが、太陽電池の電力の有効性を知っている組合長は「この魚港は再生可能エネルギーを中心に復興して行く！」と言っておられたのがとても嬉しく、まさに未来への扉が開いた瞬間のように感じた。



ここに太陽電池が設置してあります



漁協の中で木村委員長とミニ点灯式をしました。木村委員長の笑顔が忘れられません。